

地域雑誌『谷根千』とその後 ～厄介な「時代」をどのように記録するか～

講師：森まゆみさん

(作家、編集者、「谷根千」記憶の蔵主宰)



市民活動資料室「市民アーカイブ多摩」は2024年、開設10年目を迎えました。当館は2000タイトル以上のミニコミを収集・公開することで、地域に暮らす住民・市民のさまざまな声や思い・行動を、時代や分野を超えてつないでいきたいと考えています。

10周年記念講演会は、地域雑誌『谷中・根津・千駄木』（通称『谷根千』）の刊行に携わられた森まゆみさんをお迎えします。1984年に創刊された『谷根千』は、地域に根ざしたミニコミの歴史を考える時、欠かせない存在です。谷根千の活動は雑誌発行だけでなく、地域の歴史的環境の保護などの市民活動へと展開しました。森まゆみさんも作家として活躍される一方、新国立競技場（巨大な当初案）の見直しなどの運動に関わり、また「谷根千〈記憶の蔵〉」という自主的スペースを作る活動も継続されています。

ミニコミと地域社会は、デジタル化の時代とどう向き合い、紙の強みをどう生かしていけるのか。地域雑誌を起点とする活動の展開と可能性、森さんが長年培ってこられた地域資料探索の方法や活用の仕方についても伺います。

皆様のご参加、お待ちしております。

2024年 **6月16日**（日）午後**2時00分～4時30分**（開場1時30分）

会場：たましん RISURU ホール（立川市民会館）5階 第1会議室

（立川駅南口歩12分・西国立駅歩8分、裏面に地図）

要申込み
先着75人
資料代
800円
（会員無料）

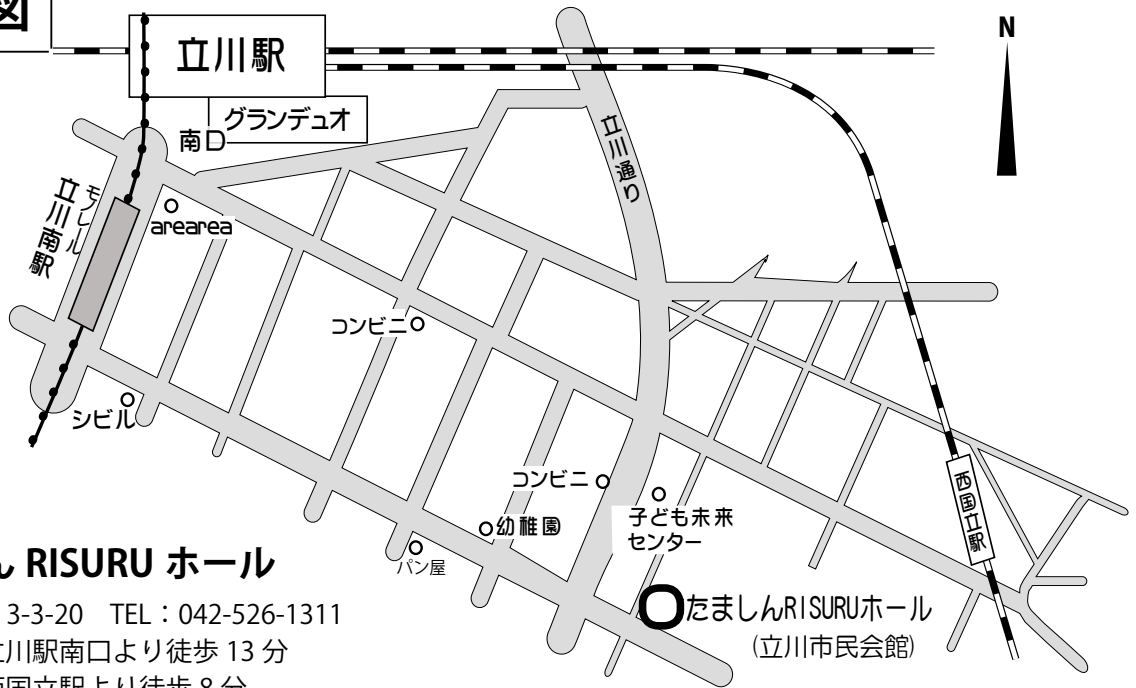
主催・申込み先：ネットワーク・市民アーカイブ

tel&fax: **042-396-2430**

E-mail: info@archive-tama.sakura.ne.jp

<http://www.c-archive.jp/>

会場案内図



たましん RISURU ホール

立川市錦町 3-3-20 TEL : 042-526-1311

JR 中央線立川駅南口より徒歩 13 分

JR 南武線西国立駅より徒歩 8 分。

多摩モノレール立川南駅より、徒歩 12 分。

講師：森まゆみさん

出版社勤務を経て 1984 年、地域雑誌『谷中・根津・千駄木 (谷根千)』を創刊。作家活動と並行して、東京の歴史的建物の保存・活用の活動が続ける。

おもな作品：

『小さな雑誌で町づくり『谷根千』の冒険』晶文社 1991(改題「『谷根千』の冒険」ちくま文庫)

『鷗外の坂』新潮社 1997 (中公文庫)

『東京遺産 保存から再生・活用へ』岩波新書 2003

『『青鞥』の冒険 女が集まって雑誌をつくるということ』平凡社 2013(集英社文庫)

『震災日録 記憶を記録する』岩波新書、2013

『森のなかのスタジアム——新国立競技場暴走を考える』みすず書房、2015

『聞き書き・関東大震災』亜紀書房 2023.8

市民活動資料室「市民アーカイブ多摩」のご案内

- ・開館日：毎週水曜日、第 2・4 土曜日 (年末年始と 8 月中旬は休館)
- ・開館時間：午後 1 時～4 時 ・入館カンパ：100 円～
- ・所在地：東京都立川市幸町 5-9 6-7 (多摩モノレール、西武線「玉川上水駅」南口徒歩 8 分)
- ・電話 & fax：042-536-5535 (開館中のみ)
- ・見られる資料：市民活動団体や個人が発行しているミニコミ (通信や会報など) 2100 タイトルほか
- ・ホームページにミニコミのタイトル、発行団体を掲載。http://www.c-archive.jp/
- ・運営：ネットワーク・市民アーカイブ